

平成26年
3月定例会

平成26年度一般会計予算等の予算議案を可決

平成26年第1回(3月)定例会は、去る3月4日から3月27日までの24日間の会期日程で開かれました。

今回の定例会では、中山義隆市長の施政方針演説が行われ平成26年度の市政運営の方針が示されたほか、「石垣市立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例」等の条例議案10件、「平成25年度石垣市一般会計補正予算(第6号)」等の補正予算議案9件、「平成26年度石垣市一般会計予算」等の当初予算議案9件、その他議案8件の計36件の議案が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

また、昨年(25年)の12月定例会で建設土木委員会へ付託され、閉会中の継続審査となっていた新港地区の名称を南ぬ浜町(ぱいぬはまちょう)と設定する「町の区域及び名称の設定について」及び「町の区域の変更について」の2件の議案については原案のとおり可決されたほか、経済民生委員会へ付託され、閉会中の継続審査となっていた「障がい児・者の発達支援システムに関わる部門設置について」の陳情についても全会一致で採択されました。

議員提出議案については、「沖縄県立八重山病院における歯科口腔外科の開設を求める要請決議」及び「赤土流出等による河川及び海岸の環境調査事業を求める要請決議」の2件の議案がそれぞれ原案のとおり可決されました。

3月19日から3月25日の4日間の日程で行われた一般質問では、15人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

過去最高額の
平成二十六年
石垣市一般会計予算
可決

三月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成二十六年一般会計予算」など一〇件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

平成二十六年一般会計予算は、歳入歳出それぞれ二三〇億一、九五一萬五千円と定めるもので予算規模は過去最高額となっており、平成二十五年当初予算と比較すると金額にして一億一、八五六萬五千円の増、また、率では〇、五%の増となっております。

その主な歳出の内訳としては、「新火葬場建設事業」五、四三七萬三千円、「登野城小学校校舎新增改築事業」三、七九八萬七千円、「防犯LED化事業」六、八八〇万円などが計上されております。

また、経済民生委員会(上門孝子委員長)及び建設土木委員会(仲嶺忠師委員長)

平成26年度 一般会計・特別会計・企業会計当初予算 (単位:千円)

会計名	平成26年度	平成25年度	比較	増減率		
一般会計	23,019,515	22,900,950	118,565	0.5%		
特別会計	14,009,138	13,289,764	719,374	5.4%		
国民健康保険事業	6,833,916	6,626,893	207,023	3.1%		
後期高齢者医療	284,886	281,756	3,130	1.1%		
介護保険事業	3,632,308	3,424,839	207,469	6.1%		
公共下水道事業	1,750,315	1,468,476	281,839	19.2%		
港湾事業	1,264,844	1,238,914	25,930	2.1%		
土地区画整理事業	126,768	162,632	△ 35,864	-22.1%		
農業集落排水事業	116,101	86,254	29,847	34.6%		
企業会計	2,504,345	1,922,094	582,251	30.3%		
水道事業	収益的収支	収入	1,866,677	1,345,947	520,730	38.7%
		支出	1,750,945	1,345,947	404,998	30.1%
	資本的収支	収入	200,854	127,296	73,558	57.8%
		支出	753,400	576,147	177,253	30.8%
	総額	収入	2,067,531	1,473,243	594,288	40.3%
		支出	2,504,345	1,922,094	582,251	30.3%
歳出合計	39,532,998	38,112,808	1,420,190	3.7%		



経済民生委員会における陳情審査の様子

平成二十六年一般会計予算等が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のと

人権擁護委員の候補者を推薦

今定例会の最終本会議において、人権擁護委員の候補者として次の方の推薦が承認されました。

比屋定 京子氏

なお、平成二十六年の会計別当初予算は左表のとおりとなっております。

おり可決すべきもの決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。